

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【公表番号】特表 2012-512036 (P2012-512036A)

【公表日】平成 24 年 5 月 31 日 (2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報 2012-021

【出願番号】特願 2011-539962 (P2011-539962)

【国際特許分類】

B 2 3 Q 7/02 (2006.01)

B 2 3 Q 3/06 (2006.01)

【F I】

B 2 3 Q 7/02 B

B 2 3 Q 3/06 3 0 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 10 月 31 日 (2012.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベースと、該ベースに亘って分配された複数のワークピースホルダとを備えたワークピースキャリアであって、

各ワークピースホルダがワークピースのシャフト (17) を受容するためにあり、

前記ワークピースホルダの少なくとも一部が、それぞれ、

前記シャフト (17) を囲むためのスリーブ (9) であって、前記シャフト (17) が前記スリーブ (9) 内に導入され又は該スリーブ (9) から取り外されることができ装填形態と、該スリーブ (9) が、該スリーブ (9) によって囲まれた前記シャフト (17) を押し込むように圧縮される把持形態との間で変化可能であるスリーブ (9) と、

機械的固定手段であって、当該機械的固定手段が前記スリーブ (9) をその把持形態に保つように該スリーブ (9) に作用する作動位置と、当該機械的固定手段が前記スリーブにそのように作用せず、該スリーブがその装填形態の状態に残される非作動位置との間で切替可能である機械的固定手段と

を具備するワークピースキャリアにおいて、

前記スリーブ (9) が凹部 (5) 内に取り外し可能に配置され且つ弾性変形可能な材料から成り、前記機械的固定手段がその作動位置において前記スリーブ (9) の外側を圧迫することを特徴とする、ワークピースキャリア。

【請求項 2】

各スリーブ (9) が、下方部分 (11) と、前記ベース上のストッパーに当接する突出リム (13) によって前記下方部分 (11) から隔てられた上方部分 (12) とを具備することを特徴とする、請求項 1 に記載のワークピースキャリア。

【請求項 3】

前記ベースが、上方部分 (1) と、該上方部分 (1) から少し離れた下方部分 (3) とから成ることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のワークピースキャリア。

【請求項 4】

各凹部 (5) が、前記下方部分 (3) における孔 (7) であって、前記スリーブ (9) の下方部分 (11) が当該孔 (7) を通って延在する孔 (7) と、前記上方部分における

より大きな孔（６）であって、前記スリーブ（９）の上方部分（１１）が当該孔（６）を
通って延在する孔（６）とを具備し、前記スリーブ（９）が前記孔（６、７）の縁によっ
て緊密に囲まれることを特徴とする、請求項３に記載のワークピースキャリア。

【請求項５】

前記下方部分における孔（７）が、前記ストッパーを形成するリム（８）によって囲ま
れることを特徴とする、請求項４に記載のワークピースキャリア。

【請求項６】

前記固定手段が、それぞれの場合において、前記ベース上に固定された旋回軸回りで回
転可能なレバー（１４）を具備することを特徴とする、請求項１～５のいずれか１項に記
載のワークピースキャリア。

【請求項７】

前記固定手段が、それぞれの場合において、前記ベース上に固定された旋回軸回りで回
転可能なレバー（１４）を具備し、該レバー（１４）が前記ベースの上方部分（１）と前
記ベースの下方部分（３）との間に設置されることを特徴とする、請求項３～５のいづれ
か１項に記載のワークピースキャリア。

【請求項８】

当該ワークピースキャリアが、各レバー（１４）について、前記ベースの上方部分（１
）を前記ベースの下方部分（３）と連結するボルト（４）であって、前記レバー（１４）
が当該ボルト（４）回りで旋回可能である、ボルト（４）を具備することを特徴とする、
請求項７に記載のワークピースキャリア。

【請求項９】

前記レバー（１４）が、該レバー（１４）の作動位置において前記スリーブ（９）を圧
迫するための滑らかな圧縮面（１５）と、前記旋回軸を越えて前記圧縮面（１５）から離
れるように延在するハンドル（１６）とを示すことを特徴とする、請求項６～８のいづれ
か１項に記載のワークピースキャリア。

【請求項１０】

前記ベースが鉛直な軸線（２）回りで回転可能であることを特徴とする、請求項１～９
のいずれか１項に記載のワークピースキャリア。

【請求項１１】

前記ベースの上方部分（１）及び下方部分（３）がそれぞれディスク形状又はリング形
状であり、且つ前記凹部（５）が前記ベースの外周の周りに前記軸線（２）から一定距離
だけ離れて一様に分配されることを特徴とする、請求項３～１０のいずれか１項に記載の
ワークピースキャリア。

【請求項１２】

各スリーブ（９）が、軸線方向に一定の円形断面のダクト（１０）を囲むことを特徴と
する、請求項１～１１のいずれか１項に記載のワークピースキャリア。

【請求項１３】

各スリーブ（９）がゴム又は弾性変形可能なプラスチックから成ることを特徴とする、
請求項１～１２のいずれか１項に記載のワークピースキャリア。